

Shiho Fujiwara 墨と和紙

# 藤原志保展

平和の風

Exhibition

2018年8月1日(水) - 10月14日(日)

開館時間 | 10:00 - 18:00

休館日 | 月・火曜日 \* 祝日は閉館し、振替休館日があります。

開館 9/17(月祝)・9/24(月祝)・10/8(月祝)

休館 9/19(水)・9/26(水)・10/10(水)

臨時休館日 8/20(月) - 23(木) \* ロゼシアター休館日

観覧料 | 無料

特別講座 アーティスト・トーク 8/5(日) 10:00 - 11:00  
(申込不要・無料)



ふじ・紙のアートミュージアム

Fuji Paper Art Museum

「生」

土佐椿手漉き和紙、越前紙、墨

主催 | 香南市

2018年

共催 | 一般社団法人富士芸術財団

Photo : Shunsuke Nakanishi



藤原志保 プロフィール

1944年 兵庫県西宮市に生まれる。少女時代水墨画に魅せられ水墨画専ら入門。墨と紙の基本的な学習を積み、樹と森をモチーフに制作を続ける。1970年代奄美群島に又、北海道根釧原野に単独旅行し、大木の根の力、強い造型に、又、地平線に垂れ込める暗雲に衝撃を受け「墨と和紙による抽象表現」を志す。

現在、兵庫県篠山市にアトリエを構え、「墨と和紙」による表現の研究を続け、モノクロームの抽象作品、立体、空間造形の制作に展開している。

- 1988 第8回現代美術今立紙展大賞
1996 兵庫県芸術奨励賞
2006 亀高文子記念一赤社賞 等を受賞
2011 藤原志保作品集 | 墨と和紙 出版

主な個展

- 1982 サエグサ画廊/東京
1986 鎌倉画廊/東京(88'90)
1987 いの町紙の博物館開館2周年記念展/高知
1995 東京電力 PLUS MINUS GALLERY/東京
2000 大丸神戸アートギャラリー/兵庫(02'07)
2001 ギャラリー島田/神戸
2002 「EMERGING VISION FROM SUMI & WASHI」
Hyogo Prefectural Government Cultural Centre:
パース/オーストラリア
藤原志保展 SALON DU HYOGO /パリ
2004 「冥想の間」信濃橋画廊/大阪(05.06'07.08)
2009 「空」兵庫県立美術館アトリエ/兵庫
「セーナ・エ・マルヌの風」
セーナ・エ・マルヌ県庁ホール/フランス
「ノールの風」ノール県庁ホール/フランス
「Pocket 美術画に鯨か…」 Pocket 美術画モトコー/神戸
2010 「生」兵庫県立美術館 アトリエ/兵庫
2011 「森々」西脇市岡之山美術館 アトリエ/兵庫
「森々」兵庫県立美術館 アトリエ
「祈り」ギャラリー島田 deux/神戸
2012 ギャラリー301/神戸(13'14'15'16)
2012 「時の融合」セラムギャラリー/ニューヨーク
2013 「Prayers for Peace」
ウォルター・ヴィックサーギャラリー/ニューヨーク

- 2014 「墨と和紙の融合」鎌倉画廊/神奈川
2017 開館35周年記念 特別企画 藤原志保個展
三木市立旭光美術館/兵庫

主なグループ展

- 1981 第2回架空通信テント美術展 夙川公園/兵庫(83)
1982 日本国際美術展 東京都美術館/東京
京都府美術館/京都(84'86)
1983 サロン・ド・メ パリ/フランス
1984 兵庫の現代美術 兵庫県立近代美術館
1985 アート・ナウ'85 兵庫県立近代美術館
1987 サロン・ド・トントヌ パリ/フランス
1988 第8回現代美術今立紙展大賞 今立/福井
1988 兵庫の美術家 兵庫県立近代美術館(90'92)
1989 第2回INO 紙のことば展 いの町紙の博物館/高知
1992 IAPMA 第7回国際紙造形展 ブダペスト/ハンガリー
1993 IPC '93 Montreal-現代日本の紙造形展
Montreal/カナダ
ウイメンズ'93 近鉄アート館/大阪、
ギャラリー EMORI /東京
1993 素材の予感...紙屋、マスタスタジオ/東京
1994 現代日本の紙造形展(財)阿波和紙伝統産業会館/徳島
Contemporary Art '94 Net Work & Message
今立芸術館/福井
1994 素材の予感 東京国立近代美術館/東京
1995 素材の予感 マスタスタジオ/東京(97.98'99.01)
1996 紙7人の作家展 不二画廊/大阪
1997 「兵庫アートウイーク・イン東京」
新宿パークタワーギャラリー1/東京
1998 記憶の組成 不二画廊/大阪
2000 第7回六甲アイランド現代アート野外展/兵庫
2001 Japan 2001 Brunel University gallery,BANKSIDE gallery
/イギリス
2002 Made in Japan「Contemporary art work on and with paper」
Usher Gallery /ロンドン
2003 「Hang」鎌倉画廊/神奈川
2005 インパクトアートフェスティバル 京都市美術館(07)
「紙は今2005」京都工芸繊維大学美術工芸資料館
2007 「架空通信・百花繚乱展」
兵庫県立美術館ギャラリー(08'09'10) 2009
「丹波篠山・まちなみアートフェスティバル」/兵庫(10'12)
2015 「折り紙の宇宙ーかたちのアバンギャルド」
西脇市岡之山美術館/兵庫
2015 神戸ビエンナーレ 2.0 1.5「兵庫・神戸の仲間たち展」
B8プラザ美術館/兵庫

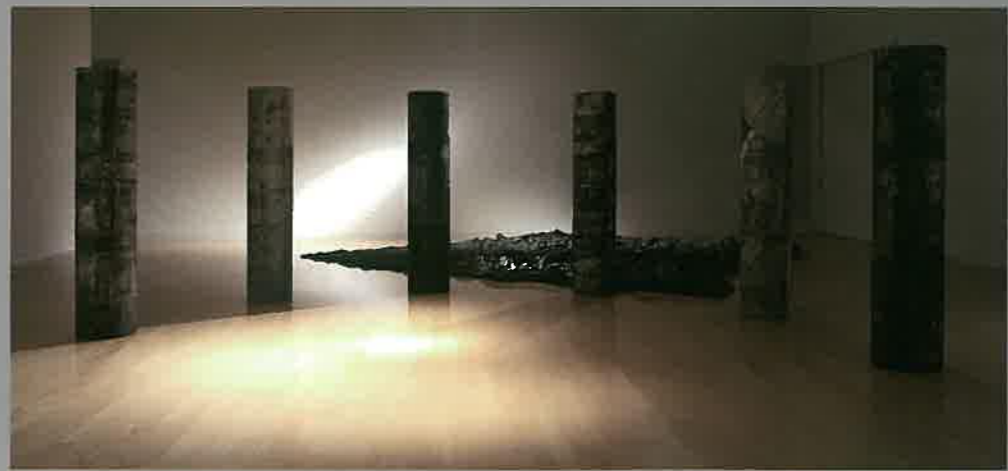


「平和の風」土佐権手書き和紙、越前紙、墨 2017年

- 2017 登東摩西・東亞水墨藝術の當代再造
MOCA Yinchuan Museum of Contemporary Art/中国
2017 「Dark Style」鎌倉画廊/神奈川
2018 「Japanese Contemporary Ink Art」
ホワイトストーンギャラリー銀座新館/東京

パブリックコレクション

- 東京国立近代美術館/東京
紙の博物館/東京
いの町紙の博物館/高知
越前市/福井
三田市/兵庫
三木市立旭光美術館/兵庫
兵庫県立丹波文化会館/兵庫
兵庫県立柏原病院/兵庫
神戸市立相楽園会館/兵庫
兵庫県立美術館/兵庫
SALON DU HYOGO /パリ
兵庫県国際交流協会/兵庫
セーナ・エ・マルヌ県/フランス
ノール県庁/フランス
ノール県ヨーロッパ・コミュニティセンター/フランス



「生」土佐権手書き和紙、越前紙、墨 2010年

藤原志保展

墨と和紙

平和の風

人は生きる意味を探し求めて旅をする。「一生涯続けられること」これを見いだした瞬間ほど幸せなことはない。その機会は自然に訪れる事もあれば、自分で見つけ出す事もある。それぞれの人生によってその出会いは違う。それはいつ訪れるか分からないし予測もつかない。

藤原氏は幼い頃から書道を学び、日本画家の祖父から日本画の指導を受けるなど芸術に親しむ環境が整っていた。その後、水墨画を学ぶなど技術的に実力を付けていくが自分は何を表現していくべきか迷いがあつた。制作にあたって意図的に表現する事に違和感を感じ始める。内から湧き出る想いをどう表現したら良いのか試行錯誤を繰り返していた。その解決に繋がったのは意外にも使い慣れた墨と和紙であつた。

ある時、墨の濃淡やにじみ・ぼかしが迷いを打ち消すかのように語りかけてきた「自然のままに」墨を操るのではなくその形を受け入れることにより内に秘めた想いが自然と形になった。

作家として一生涯続けられることに出会った瞬間であつた。藤原氏は自然体でとても優しく温かい人である。作品はその人柄を表すかのように生き生きしている。

# 藤原志保展 — 平和の風 — 墨と和紙

2018年8月1日(水) - 10月14日(日)

- 開館時間 | 10:00 - 18:00
- 休 館 日 | 月・火曜日  
\* 祝日は開館し、振替休館日があります。  
開館 9/17(月祝)・9/24(月祝)・10/8(月祝)  
休館 9/19(水)・9/26(水)・10/10(水)  
臨時休館日 8/20(月) - 23(水) \* ロゼシアター休館日
- 観 覧 料 | 無料
- 特別開催 | アーティスト・トーク 8/5(日) 10:00 - 11:00  
(申込不要・無料)
- 主 催 | 富士市
- 主 覧 | 一般社団法人富士芸術村
- 交 通 | 東名富士インターチェンジより約 2.3km、国道 1 号より約 2.2km、新富士駅より約 2.2km、富士駅より約 2.6km  
バスの場合は JR 富士駅(北口バス停)から 15 分「ロゼシアター入口」下車(徒歩 2 分)  
新幹線 JR 新富士駅北口バス停から 15 分「ロゼシアター前」下車  
\* 発車駅によって到着するバス停が異なりますのでお乗りの際はご注意ください
- 駐 車 場 | 富士市文化会館 ロゼシアターの駐車場をご利用ください。  
\* ロゼシアター開催の公演により混雑する場合があります。



「生」 土佐精手墨き和紙、越前紙、墨 2010年  
Photo : Shunsuke Nakanishi

## ふじ・紙のアートミュージアム

ふじ・紙のアートミュージアムは、紙を素材とした芸術作品を展示します。そして、「つなげる・つながる」をテーマに芸術文化活動をしていきます。当ミュージアムが拠点となり、富士市全体がミュージアムになることを願っています。

【2016年11月1日 開館】

〒416-0953 静岡県富士市琴原町 1750 番地  
富士市文化会館ロゼシアター 1 階  
TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582  
<http://www.fuji-paperart.jp>